

平成26年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「持続可能な中小企業支援のための研修施設構築計画」引渡し式

5月26日、中野大使は、セント・アンドリュース県キングストン市のボランティア社会福祉協議会（CVSS）にて行われた、平成26年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「持続可能な中小企業支援のための研修施設構築計画」の引渡し式に出席し、ボランティア社会福祉協議会ギャリー・ヘンドリクソン理事長に研修プログラムと機材の寄贈をしました。

ボランティア社会福祉協議会は、非営利団体RESETカリブ基金と協力し、中小企業支援のためのプロジェクトを実施します。RESETカリブ基金事務所にネットワーク環境を構築しオンライン研修を実施するなど、中小企業に関わる人々を支援し、ジャマイカ経済に寄与するのが目標です。このプロジェクトは、JICAの研修プログラムによって日本で中小企業開発を学んだ元研修生の企画によるものであり、日本の各援助スキーム間の有機的連携が図られている案件です。

当日の署名式へは、カール・サムーダ産業・商業・農業・漁業大臣、同協議会関係者など約30名が出席しました。サムーダ大臣をはじめとする来賓、関係者たちは、日本の援助への謝意を示し、ジャマイカ経済はビジネスの発展により改善し、このプロジェクトが社会経済に大きく貢献するであろうと述べました。中野大使は、JICA研修の成果が実を結んだことを強調し、日本政府は今後もジャマイカとの関係を強化し、ジャマイカの経済成長に繋がる支援を継続すると述べました。



テープカットの様子



サムーダ大臣ほか関係者との撮影